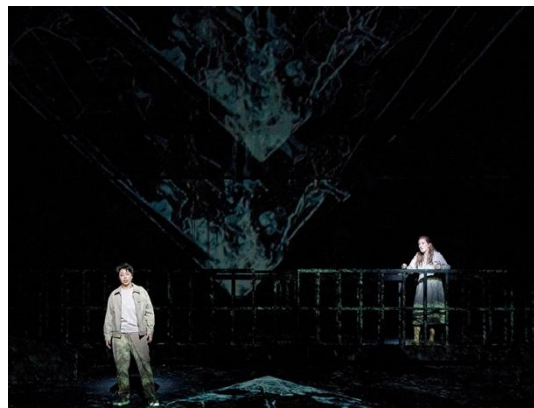


新国立劇場ニュース

報道関係者各位
(全3枚送付)

2025 年 10 月 30 日
公益財団法人 新国立劇場運営財団

新国立劇場オペラ公演『ナターシャ』
無料映像配信決定のお知らせ
～OperaVision にて世界中に新国立劇場のオペラを発信します～



2025 年 8 月に新国立劇場に初登場した『ナターシャ』。現代音楽をリードする作曲家として、世界各国の主要なオーケストラ、音楽祭、劇場からの委嘱作品が次々と上演されている細川俊夫による本作の上演は、国内外のメディアでも大きな話題となり、International Opera Awards 2025 の World Premiere 部門(新作部門)でファイナリストとして選出されました。その公演映像を、2025 年 12 月 13 日(土)午前 3 時から 6 か月間、OperaVision および新国デジタルシアターにて無料公開することが決定しました。

OperaVision は、EU の文化支援プログラム Creative Europe の支援の下、Opera Europa が監修するヨーロッパ最大級のオペラ映像配信プラットフォームです。新国立劇場は 2022 年 2 月より OperaVision のプロジェクトパートナーとなっています。

大野和士芸術監督による日本人作曲家委嘱作品シリーズ第 3 弾として上演された、細川俊夫による新作オペラです。現代音楽をリードする作曲家として、世界各国の主要なオーケストラ、音楽祭、劇場からの委嘱作品が次々と上演されている細川俊夫は、新国立劇場へは 2018 年に『松風』を上演して以来の登場、大野和士とのタッグで世界初演を行うオペラはエクサン・プロヴァンス音楽祭委嘱作品『班女』(2004 年)以来となりました。

人と自然の関わりを見つめ直し、祈りと鎮魂としての音楽を書いた細川俊夫は、特に 2011 年の東日本大震災以後は自然の恐ろしさ、そして自然への畏怖を忘れた人間の傲慢さを念頭に、破壊の歴史を繰り返す人間の姿を問い続けています。新作の台本を手掛けたのは、ドイツを拠点に世界を見つめ、日本語とドイツ語で国境や言語をテーマにした小説を発表し世界的に評価される作家、多和田葉子。故郷を追われ彷徨う移民ナターシャと青年アラトの邂逅、そして人間の様々な地獄絵図を見せ二人を導いてゆくメフィスト的存在を核に、日本語、ドイツ語、ウクライナ語の多言語によって、現代文明と人間の始原の姿が対比されていきます。危機に瀕した地球のうめきが根底に響き、多文化を鍵に破滅と希望が描かれるオペラです。

本配信により、世界中のオペラファンの皆様に新国立劇場のオペラ公演をお楽しみいただければ幸いです。

【概要】

■配信期間

2025 年 12 月 13(土)午前 3 時～2026 年 6 月 12 日(金)午後 7 時

(ヨーロッパ標準時間 2025 年 12 月 12 日(金)午後 7 時 ～ 2026 年 6 月 12 日(金)午後 12 時)

■配信メディア

・OperaVision 公式サイト:<https://operavision.eu>

・新国デジタルシアター:<https://www.nntt.jac.go.jp/stream/>

■配信内容

新国立劇場 2024/2025 シーズンオペラ <新制作 創作委嘱作品・世界初演>

細川俊夫作曲『ナターシャ』

収録日:2025 年 8 月 17 日(日)

『ナターシャ』:日本語、ドイツ語、ウクライナ語ほかによる多言語上演/日本語及び英語字幕付

【台 本】多和田葉子

【作 曲】細川俊夫

【指 揮】大野和士

【演 出】クリスティアン・レート

【美 術】クリスティアン・レート、ダニエル・ウンガー

【衣 装】マッティ・ウルリッチ

【照 明】リック・フィッシャー

【映 像】クレメンス・ヴァルター

【電子音響】有馬純寿

【振 付】キャサリン・ガラッソ

【舞台監督】高橋尚史

【ナターシャ】イルゼ・エーレンス

【アラト】山下裕賀

【メフィストの孫】クリスティアン・ミードル

【ポップ歌手 A】森谷真理

【ポップ歌手 B】富平安希子

【ビジネスマン A】タン・ジュンボ

【ビジネスマン B】ティモシー・ハリス

【サクソフォン奏者】大石将紀

【エレキギター奏者】山田 岳

【合唱指揮】富平恭平

【合 唱】新国立劇場合唱団

【管弦楽】東京フィルハーモニー交響楽団

上演時間:約 2 間 35 分

インタビュー映像も特典映像として配信

■あらすじ

海、そして宇宙の響き。アラトは母なるものを求め地底への入口を探し、故郷を追われ彷徨うナターシャと出会う。言葉が通じないながら名を伝えあった二人の前に、メフィストの孫と名乗る男が登場。二人はメフィストの孫に誘われ、海辺から森へ、そして現代の様々な地獄へと旅していく。



photo by Rikimaru Hotta

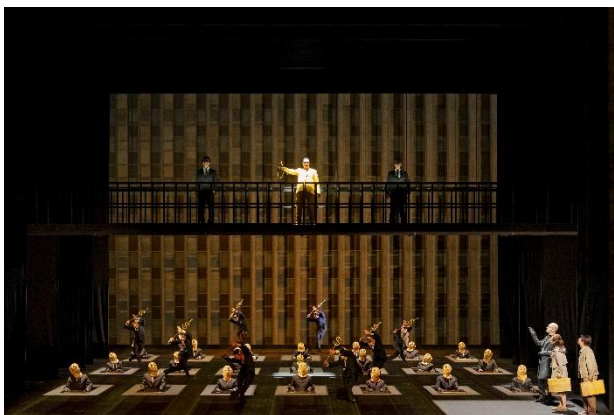


photo by Rikimaru Hotta

■OperaVision とは？



世界各地の歌劇場や音楽フェスティバル団体が持つオペラの公演記録映像を無料で配信するプラットフォームです。欧州連合（EU）の文化支援プログラムである Creative Europe の支援のもと運営されており、現在新国立劇場を含む 17 か国 30 団体が参加しています。新国立劇場はアジア圏唯一の加盟団体です。

OperaVision 公式サイト <https://operavision.eu/>（英語・フランス語・ドイツ語）

【報道関係の皆様からのお問い合わせ先】

広報室：高橋、辻、遠藤

TEL:03-5352-5781 / FAX:03-5352-5709 / E-mail: press@nntt.jac.go.jp